



杉並三田会



ハイキング散策の会

世話人 渡邊 美穂子 40文

- * 杉並三田会発足と共に創設され、
年約10回のハイキング・散策を行ってきました。
- * 毎年: 春 夏 秋 のそれぞれの花を求めて、
日帰りの散策
- * 主として東京近郊の中央線沿線青梅、奥多摩、武蔵
五日市方面及び湘南地方の散策
- * 年に1~2回 上信越方面等への一泊二日
九州・四国地方への旅も行っています。
- * 会のキーワードは自然・花・古刹・史跡の
“散策ハイキング”と“語らい”です。
- * 現在、会員は約100名、毎回のハイキング会へは
30名前後の方々が参加されております。

12月3日 ハイキング散策の会

雲一つない暖かな小春日和の12月3日(土)比企丘陵を訪れました。

池袋集合で東武東上線で高坂下車。まずは米山薬師に立ち寄り1300年の歴史ある岩殿観音正法寺へ。まっすぐに伸びた長い参道は江戸時代末期の観音信仰が盛んであった当時をしのばせるに十分なたたずまいで、紅葉真っ盛りの樹齢700年の大銀杏には一同感嘆の声を上げる。春には一万株のツツジで彩られる見晴らしの良い物見山公園で暖かな日差しを浴びながらお弁当。午後は人っこ一人いない広大な東松山市民の森の雑木林の落ち葉を踏みしめながら散策。一角にあるJAXAに立ち寄り最新の宇宙開発技術にも触れる。絶好のお天気に恵まれた静かな晩秋の秋色いっぱいの日でした！



1月26～28日 ハイキング散策の会

ハイキング散策の会恒例の冬の旅行で1月26, 27, 28日と”神秘の島 五島列島”と世界遺産 ”軍艦島”上陸と10の味覚を食す二泊三日の旅をしてきました。

幸い素晴らしいお天気に恵まれた暖かな三日間で事故もなく期待以上の楽しい旅が出来ました。まず佐賀空港へ飛び長崎へ。眼鏡橋ではおりしもランタンフェスティバルの前日で赤や黄色のランタンの飾りつけも綺麗になされにぎわっていました。南山手地区の大浦天主堂やグラバー園等自由散策をし長崎港一望のホテルへ。ホテルからは真っ赤な夕日と世界新三大夜景といわれる夜景を楽しみました。

二日目はフェリーにて福江島へ波穏やかな3時間の旅。観光客もいない静かな島では丁度椿が見ごろを迎えており溶岩海岸や鬼岳展望台、浦頭カトリック教会、堂崎天主堂などを見学し迫害がひどかった隠れキリシタンに思いを寄せ長崎に戻りました。

三日目には雲一つない晴天のなか平和記念公園を訪れた後軍艦島へ向かいました。世界遺産の三菱のドックやクレーンを船から見学しいよいよ海底炭鉱の島へ上陸。立ち並ぶ高層鉄筋アパートは朽ち果てていましたが日本の近代化を支えた産業遺産”端島炭鉱”は石炭産業の歴史を今に伝えており感動を覚えました。帰りも佐賀空港から羽田へと参加34名無事に帰京しました。



2月25日 ハイキング散策の会 三浦半島観梅ハイキング

風もなく穏やかな日差しに恵まれた2月25日、今年初めてのハイキングを行いました。

品川駅集合で京急逸見下車。一気に坂道を上り塚山公園へ。東京湾の景色を堪能した後1600年英国人で日本へ初めて渡来した三浦按針ことウイリアム・アダムスの塚に参り地元ガイドの方に説明を聞く。海の景色を楽しみながら十三峠を越え三浦半島唯一の田浦梅林へ。

現天皇のご生誕を祝って植えられた700本の梅が始まりだが現在では2700本の梅が咲き誇り、見晴らしの良い広場でお弁当。午後は知る人ぞ知る京都の伏見稲荷の系統の白赤稲荷に参拝、三つの山坂を無事超え足慣らしにはちょっときついハイキングになったかもしれませんが皆さん元気に歩きとおしました。

最後に大事なものと大金が入ったお財布を落とされた方がいて皆心配しましたが無事親切な方が警察に届けて下さりめでたし、めでたしで二次会では日本は本当にいい国だということで盛り上がりました！



3月25日 ハイキング散策の会

春の日差しが降り注ぐ3月25日恒例の春の野草摘み、カタクリの群生地を訪ねノラボウ採りへ出かけました。あきる野市の秋川で下車し、まずは切欠地区の可憐なカタクリの群生を鑑賞しました。

その後秋川の河畔をカンゾウやつくしを摘みながらのんびりと散策、オオイヌノフグリや ヒメオドリコソウ、ホトケノザ などが咲く野原でお弁当。午後は林間に珍しいミヤマカタバミの白い花を見つけ歓声を上げた後桜並木のつぼみも膨らんだ河川敷を武蔵引田まで戻りいつもお世話になっている渡辺農園でノラボウ採りに興じました。すいとんをご馳走になった後帰途につきました。

23000歩の心地よい疲れで二次会も大いに盛り上がり楽しい春の一日でした。

